

第6 妊産婦・乳幼児保健指導事業

1 周産期ケース支援会議

(1) 目的

令和3年度から利用者支援事業の母子保健型が健康増進課と家庭児童課に分かれたため、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の実施に向け、2課で周産期ケース支援の検討・情報共有を行う。

(2) 開催場所及び開催日

ア 開催場所

福祉会館3階

イ 開催日

毎月第4木曜日

(3) 実施状況

ア 家庭児童課からの継続支援依頼件数 (単位：件)

年度	件数	ケース区分		
		妊娠期		子育て期
		利用者支援	地区支援	地区支援
R3年度	722	607	92	23
R4年度	646	451	155	40

イ 家庭児童課への情報提供件数 (単位：件)

年度	件数	ケース内訳	
		医療機関連絡票	その他
R3年度	500	460	40
R4年度	491	397	94

2 利用者支援事業（母子保健型）

(1) 目的

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施するため、平成28年度に子育て世代包括支援センターを設置した。令和3年度からは利用者支援事業（母子保健型）を健康増進課と家庭児童課が、また、利用者支援事業（基本型）を総合子育て支援センターが担い、連携して切れ目のない支援を実施する。妊娠期からの支援は、母子保健コーディネーターと地区担当保健師が実施する。

(2) 従事者（健康増進課のみ）

助産師（3名：会計年度任用職員ロングパート1名、ショートパート2名）

(3) 支援状況

支援方法及び実施回数

(単位：人)

区分 年度			妊産婦				乳児				幼 児	養 育 者 ・ 家 族	総 計	不 在 ・ 不 明	
			妊婦		産婦		小 計	低 体 重 児	新 生 児	そ の 他					小 計
			ハ イ リ ス ク	そ の 他	ハ イ リ ス ク	そ の 他									
R 1 年度	電話	人数	262	—	529	116	907	135	224	311	670	—	—	1,577	752
		面接	実人数	857	829	24	74	1,784	2	1	94	97	—	—	1,881
	延べ人数		862	832	24	74	1,792	2	1	94	97	—	—	1,889	—
	訪問	実人数	102	2	277	119	500	105	66	242	413	—	—	913	112
		延べ人数	112	2	287	121	522	107	68	251	426	—	—	948	
	R 2 年度	電話	人数	302	—	768	172	1,242	125	340	523	988	—	—	2,230
面接			実人数	828	913	23	63	1,827	1	1	79	81	—	—	1,908
		延べ人数	835	917	23	63	1,838	1	1	80	82	—	—	1,920	—
訪問		実人数	22	3	298	136	459	115	77	273	465	9	—	933	16
		延べ人数	22	3	307	142	474	117	77	283	477	10	—	961	
R 3 年度		電話	人数	236	—	652	35	923	57	184	446	687	—	—	1,610
	面接		実人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	訪問	実人数	23	—	200	41	264	63	42	149	254	—	—	518	3
		延べ人数	24	—	212	42	278	66	44	156	266	—	—	544	
	R 4 年度	電話	人数	237	—	465	24	726	31	86	337	454	2	—	1182
面接			実人数	1	—	3	1	5	—	1	3	4	—	—	9
		延べ人数	1	—	3	1	5	—	1	3	4	—	—	9	
訪問		実人数	33	4	207	26	270	37	46	155	238	—	2	510	1
		延べ人数	34	4	223	27	288	38	48	165	251	—	2	541	

※令和3年度以降は家庭児童課分を除く

3 健康教育

(1) 体験型妊婦教室

ア 目的

妊婦が安心して出産・育児に臨むことができるように、妊娠中の生活、生まれてくる子ども
の父親・母親としての心構えや、育児などについての情報提供を行う場とする。

イ 対象

妊婦とその家族

ウ 実施方法

(ア) 会場

岡崎げんき館

(イ) 従事者

保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、保育士等

エ 内容

(ア) 講話

妊婦の身体、妊娠中の生活、産後の身体、育児、赤ちゃんの泣きの特徴、赤ちゃんの抱っこの仕方、栄養、歯科・口腔衛生、妊娠・授乳期における薬

(イ) ビデオ上映

「沐浴の仕方」、虐待予防DVD『赤ちゃんが泣きやまない』（厚生労働省）

(ウ) 体験コーナー

赤ちゃん人形抱っこ体験、沐浴体験、妊婦体験

オ 周知方法

市政だより・ホームページに掲載、母子健康手帳交付時に配布する「子育てガイドブック」に掲載

カ 講座受講者数

(単位：人)

区分	実施回数	妊婦	夫	祖父母等	計
R 1年度	11	418	406	32	856
R 2年度	—	—	—	—	—
R 3年度	—	—	—	—	—
R 4年度	10	303	292	3	598

※ 令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により体験型は中止し、Web版両親学級を実施。（Web版両親学級のホームページは引き続き掲載）

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、8月と9月の教室を中止した。

(2) 多胎妊婦教室

ア 目的

多胎妊婦が安心して出産・育児に臨むことができるように、多胎の特徴を踏まえた妊娠中の生活、生まれてくる子どもの父親・母親としての心構えや、育児などについての情報提供を行う場とする。

イ 対象

多胎妊婦とその家族

ウ 実施方法

(ア) 会場

岡崎げんき館

(イ) 従事者

保健師、助産師等

エ 内容

(ア) 講話

妊娠中の生活、出産準備、NICUについて、産後の身体、育児、遊びの紹介、社会資源の紹介

(イ) 動画上映

多胎の赤ちゃんの泣きの特徴、赤ちゃんの抱っこの仕方、授乳方法

(ウ) 体験

赤ちゃん人形抱っこ体験、沐浴体験

(エ) グループワーク

オ 周知方法

助産師による案内、ホームページ、ちらし

カ 講座受講者数

(単位：人)

区分	実施回数	妊婦	夫	祖父母等	計
R 4年度	2	9	4	0	13

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、8月は教室を中止した。

(3) 思春期保健

ア 目的

性・妊娠・出産に関する正しい知識を持ち、生命の大切さ、人と人とのつながりについて学ぶことによって、自分自身だけでなく相手も大事にする心を育てることができる。また、子どもたちに関わる大人に正しい知識の普及・啓発を行い、子どもたちの健全育成を目指す。

イ 実施状況

(ア) 中高生向け思春期教育 計15回

従事者 保健師・保健予防課感染症対策係職員

内 容 生と性の健康教育

(イ) 実施状況の推移

(単位：回・人)

	幼児向け思春期教育		小学生向け思春期教育		中高生向け思春期教育	
	開催回数	参加者	開催回数	参加者	開催回数	参加者
R 1年度	—	—	2	138	17	3,179
R 2年度	—	—	1	35	18	4,419
R 3年度	1	92	—	—	15	3,061
R 4年度	—	—	—	—	15	3,454

ウ 思春期教育用物品の貸出し

貸出し機関 特別支援学校、高等学校

貸出し件数 2件

4 健康相談

(1) 乳児健康相談 (まちかど ほっと相談室)

ア 目的

乳児の保護者に対して健康相談の場を提供することで、育児不安や孤独感を軽減できるようにする。

イ 対象

育児に心配のある乳児とその保護者

ウ 実施方法

(ア) 会場

北部地域交流センター、西部地域交流センター、地域交流センター六ツ美分館

(イ) 実施回数

年間24回

(ウ) 従事者

保健師、助産師

エ 内容

- (ア) 育児・授乳相談・乳児の体重測定
- (イ) 各種教室、子育て支援事業、相談窓口等の支援サービスの紹介

オ 周知方法

市政だより・ホームページ、母子健康手帳交付時に配布する「子育てガイドブック」、こんにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業）の際に配布する「こんにちは赤ちゃん」、すくすくメールに掲載

カ 実施状況

(ア) 月齢別来所者数 (単位：実件数・%)

区分	0～ 3か月	4～ 6か月	7～ 9か月	10か月～ 1歳未満	1歳	2歳	計
R 1年度	274 (30.4)	246 (27.3)	245 (27.2)	104 (11.5)	23 (2.5)	10 (1.1)	902 (100.0)
R 2年度	—	—	—	—	—	—	—
R 3年度	19 (26.0)	24 (32.9)	15 (20.5)	14 (19.2)	1 (1.4)	— (—)	73 (100.0)
R 4年度	158 (47.2)	89 (26.6)	61 (18.2)	27 (8.0)	— (—)	— (—)	335 (100.0)

(イ) 会場別来所者数 (単位：実件数・%)

区分	岡崎げんき館	岩津市民 センター	矢作市民 センター	六ツ美市民 センター	総合子育て 支援センター	北部地域交流 センター	西部地域交流 センター	六ツ美分館 センター	地域交流 センター	計
R 1年度	446 (49.4)	104 (11.5)	143 (15.9)	99 (11.0)	110 (12.2)	—	—	—	—	902 (100.0)
R 2年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R 3年度	73	—	—	—	—	—	—	—	—	73
R 4年度	—	—	—	—	—	54 (17.2)	226 (67.5)	55 (16.4)	—	335 (100.0)

(ウ) 相談内容内訳 (延べ件数) (単位：件)

区分	病気・ 症状	発育	発達	栄養		育児	歯科	事故防 止	予防接 種	各種事 業紹介	その他	計
				母乳・ ミルク	離乳食							
R 1年度	89	347	95	316	397	209	94	15	5	10	4	1,581
R 2年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R 3年度	6	27	7	29	44	36	10	—	—	5	—	164
R 4年度	16	114	30	186	40	62	9	3	2	6	7	475

(2) 電話相談

(単位：件)

相談内容	病気・症状	発育・発達	食事	育児	事故（誤飲・転落・やけどなど）	虐待	妊娠中・産後	思春期	医療給付事業関係	母子保健事業関係	その他	計
H30年度	16	37	28	25	4	—	2	—	238	1,840	—	2,190
R 1年度	81	70	67	105	7	8	—	—	210	2,482	—	3,030
R 2年度	67	79	117	119	10	32	5	—	256	1,709	21	2,410
R 3年度	30	55	58	68	4	36	—	—	435	1,567	—	2,253
R 4年度	48	35	59	53	3	9	—	—	460	1,638	4	2,309

※地区活動の保健指導としての電話相談は含まない。

5 岡崎市母子保健連絡協議会

(1) 目的

母子保健事業（母子保健法）及び岡崎市母子保健計画についての総合的かつ効果的な推進が図れるよう、関係機関の円滑な連携と協力を確保する。

(2) 構成員

岡崎市医師会、岡崎歯科医師会、岡崎市民病院、開業助産師、岡崎市民生委員児童委員協議会、西三河児童・障害者相談センター、その他母子保健に関わる者

(3) 実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響によりWeb会議とした。

資料送付日	内容	送付状況
7月14日	令和3年度事業報告 令和4年度の新規事業報告 要支援妊産婦の医療機関と行政との連携について 流産、死産後のケアについて 岡崎市母子保健計画について	24機関 31人